



ゆくて遥かに

令和3年3月15日(月)

第149号

長野県松本深志高等学校長

深志第73回卒業証書授与式(3月4日)

4日の午後、柔らかな陽ざしが降り注ぐ、暖かで穏やかな日和の中、深志第73回の卒業式を挙行了いたしました。県教育委員会からは、○在校生は挨拶等を行う代表者のみ、○保護者は卒業生1名に対し1名以内、○式典の時間をできるだけ短縮できるように工夫を行う、○全体での歌唱を行わない、等々の指示が示されました。本校ではご来賓をお呼びせず、在校生もない式となりましたが、開式の辞→国歌→卒業証書授与(代表1名)→学校長式辞→在校生代表挨拶(送辞)→卒業生代表挨拶(答辞)→記念品贈呈(ホワイトボードスクリーン4台)→卒業生保護者代表挨拶→校歌→閉式の辞、という式次第で、全体で50分という、厳粛かつコンパクトな卒業式となりました。深志第73回となる322名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんが、前途洋々たる人生を、正々堂々、楽しみながら歩いていくことを、そして輝ける未来に向かって大きく飛躍することを期待しています。



後期選抜学力検査行われる(3月9日)

先週は高校入試のための一週間。9日に後期選抜の学力検査を実施しましたが、コロナ対策の一環として前日の月曜日は臨時休業に。そして、水曜日から三日間をかけて採点を行いました。受検生一人ひとりの努力と思いがこもった答案用紙、一枚たりとも気を抜くことはできません。コロナの影響で通常どおりにはいかない様々な苦労もあったでしょうし、体調管理についてもご家族も含

め擦り切れるくらい神経を使ったことと思います。そうした中、無事に試験を受け切ただけでも「本当によく頑張った」と思います。合格発表は19日です。

難関大学対策講座（3月6日）

県教委学びの改革支援課のアライアンス事業として、難関（と呼ばれる）大学受験を希望する高校1・2年生を対象とした対策講座を6日に開催しました。（本校進路指導部が企画・開催）具体的な内容は、「駿台予備学校の講師陣による徹底した入試問題分析に基づく英語及び数学の授業と、より効果的な学習指針の提示」で、50分×6コマ（英語3コマ、数学3コマ）。9時30分から16時までみっちり詰まった日程です。受講料及び資料代として5,000円徴収としましたが、中南信の5つの高校から、1年生：45名、2年生：49名（内、本校生徒がそれぞれ10名以上）参加しました。会場は松本市勤労者福祉センターで、コロナによる会場使用制限のため、定員は各学年とも48名、ギリギリまで集まりました。英語では、○難関大を目指すのであれば2年生の段階である程度の完成を目指す→受験問題も時間をかければ解けるレベル、○そのためにも時間をかけるべきところはしっかり時間をかける→ポイントは「単語」「語法（イデオム）」「リスニング」、→今年度実施の共通テストでは、リーディングについては高得点者が目立つが、リスニングは成績上位者にも取りこぼしが目立つ……とのことです。



その他の話題をいくつか

★ 令和3年度の全国高校総合体育大会（インターハイ）夏季大会は、北信越地区5県で開催されます。長野県では、水泳・柔道・テニス・少林寺拳法の5種目が行われる予定ですが、その種目別ポスター審査委員会から、表彰状と記念品が届きましたので、3日の昼休みに校長室で本人たちに手渡しました。受賞したのは、2年の青木さん（柔道競技、優秀賞）と大寺くん（水泳競技、佳作）です。二人ともアカシア会所属で、青木さんは柔道をやったことがなく、大寺くんは水泳競技経験者なのだそうです。インターハイは運動部の全国大会ですが、様々な文科系クラブが大会の盛り上げに一役も二役も買っています。



★ 第10回科学の甲子園全国大会に出場する2年生7名（降籬くん、城井くん、小野寺くん、中澤くん、早川くん、内田くん、勝丸さん）に、同窓会からのお祝い金と校長からの寸志を、5日の昼休みに渡しました。目標は大きく全国優勝、時間を工夫して作り出して準備に余念がありません。

今週の予定（1・2年特編授業、合格発表）

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
15	月	校舎内立ち入り禁止	
16	火		
17	水	特編授業 1棟1階立ち入り禁止	
18	木	特編授業	
19	金	入学予定者発表 職員会 1棟立ち入り禁止	
20	土	春分の日	
21	日		
22	月	終業式・離任式 教室移動（1年→2年）	